

研究業績等の記述について

1. 「論文」は査読のある原著論文を意味しており、これを適当なテーマ別に分け、その中で年度・月順に並べ、ナンバリングをすること。
2. 同じ内容の論文については、同じ番号にダッシュ（[^]）を付すること。
3. 連名論文の内、連名者の誰かがドクター論文として使用した場合は、その人の名前の肩にD印を付けること。
4. 国際会議論文、解説、総説、学会発表等は、論文の次に別に記入のこと。
5. 論文等は、掲載（発表）済みもしくは掲載（発表）が決定したものを記入することとし、投稿中などの未確定なものは除くこと。
6. 「学会ならびに社会における活動」、「教育等に対する貢献」については、サンプルを参考にして内容を適当に判断すること。
7. 特許があれば、その出願状況を記述する。
8. 外部資金については、過去5年程度のものを記述する。ただし、募集要項に指定がある場合は、それに従うこと。

研究業績

氏名 大阪 太郎

I 著書

著書名	発行所名	発行年月 (西暦)	著者、分担 執筆者等
1. 化学ことはじめ	関西出版社 (総ページ数: 123)	2012.5	<u>大阪 太郎</u>
2. 化学入門	大阪出版社 (pp.85-110)	2013.7	<u>大阪 太郎</u> 公大 花子
3. Physical Handbook (The 3 rd Edition) Chapter 5	Haagen-Dazs Inc. (pp.123-154)	2014.6	大阪 太郎 (分担執筆)
以上、著書総数 3 報 (うち、単著 1 報、分担執筆 2 報)			

II 論文

論文名	発表機関名 (雑誌 名)、巻号、ページ	発表年月 (西暦)	著者
<u>A. 化学物質が示す物理化学挙動に関する研究</u> 1. Experimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC	J. Phys. Chem. A, Vol.100, pp.12-18	2010.3	<u>T. Osaka</u> H. Kodai J. Osaka ^D
<u>B. 化学物質の合成に関する研究</u> 1. Synthesis of Chemical Martials by Continuous Reaction	J. Advanced Chemistry, Vol. 20, pp.100-107	2015.7	<u>T. Osaka</u> H. Kodai J. Osaka ^D
2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy	Chemical Surface Analysis, Vol. 10, pp.200-205	2016.12	H. Osaka <u>T. Kodai</u> J. Osaka ^D S. Nagoya ^D

<p>C. 物理現象の解析に関する研究</p> <p>1. 天体の位置と動きの測定に関する研究</p> <p>1' Measurement of Position and Motion of Celestial Bodies (論文1の英訳)</p> <p>以上、論文総数4報 (うち、筆頭著者・責任著者数3報)</p>	<p>天体科学 http://www.science-direct/publication/jse/v10n1/Schafer-234.html</p> <p>J. Astrophysics Vol. 25, pp.95-105</p>	<p>2017.2</p> <p>2017.8</p>	<p><u>大阪 太郎*</u> <u>公大 花子</u></p> <p><u>T. Osaka</u> <u>H. Kodai</u></p>
---	--	--	---

III 国際会議論文等

論文名	学会名、論文等の番号、場所	発表年月 (西暦)	著者
<u>A. 化学物質が示す化学挙動に関する研究</u> 1. Numerical Study on Chemical Behavior of AB-CDE	Proc. of the 2013 AChS (American Chemical Society) Annual Meeting, pp.123-134 (San Francisco, USA)	2013.5	<u>T. Osaka</u> H. Kodai J. Osaka ^D
<u>B. 化学物質の合成に関する研究</u> 1. Synthesis of Chemical Martials by Batch Reaction	Proc. of the 10th USA-Japan Symposium on Chemicals & Physics, Paper #452 (Total 5pages) (CD-ROM) (Orlando, USA)	2014.12	H. Kodai <u>T. Osaka</u> J. Osaka ^D
2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy	Proc. of the 5th International Conference on Chemistry, pp.12-15 (Kobe, Japan)	2015.9	<u>T. Osaka</u> J. Osaka ^D H. Kodai S. Nagoya
<u>C. 物理現象の解析に関する研究</u> 1. Analysis on Lunar Movement by using a Telescope	Proc. of 10 th International Conference on Lunar, p.204 (London, UK)	2017.8	<u>T. Osaka</u> H. Kodai J. Osaka ^D
以上、国際会議論文発表総数 4 報 (うち、筆頭著者数 3 報)			

IV 解説・総説等

論文名	発表機関名(雑誌名)、巻号、ページ	発表年月(西暦)	著者
1. 化学物質が示す化学挙動に関する研究 以上、解説・総説総数1報 (うち、筆頭著者は1報)	化学と産業, Vol. 10, pp.100-103	2015.4	大阪 太郎 公大 花子

学会ならびに社会における活動

氏 名 大阪 太郎

年 月 日 (西暦)	事 項
2010年4月1日 ～2017年3月31	化学物理工業会 学生会員
2012年4月1日 ～現在	物理化学会 正会員
2014年4月1日 ～現在	化学物理学会 理事
2015年4月1日 ～現在	大阪府公害対策審議会委員
2015年4月1日 ～現在	通産省産業技術審議会専門委員

教育等に対する貢献

氏 名 大阪 太郎

科 目 名 等	事 項 (日付は西暦)	備 考
ティーチング・アシスタント (京東大学工学部)	2010年4月1日～2010年8月31日 2011年9月1日～2012年3月31日	従事
(学域)		
化学実験	2014年4月1日～現在	分担
化学実験Ⅱ	2014年4月1日～現在	分担
(大学院)		
化学物理特論	2014年4月1日～現在	担当

※助手・TAの期間中は、備考欄に全て従事と記入（助教の場合は、分担か担当を記入）

特 許

氏 名 大阪 太郎

I 特許登録

特 許 名	特許登録番号	登録年月 (西暦)	発明者
1. 化学物質の計測方法	特許第 501234 号	2016.4	<u>大阪 太郎</u> 公大 花子

II 特許公開

特 許 名	特許公開番号	公開年月 (西暦)	発明者
1. 化学物質の製造方法	特願 2015-23456	2015.6	<u>大阪 太郎</u>

外部資金

氏名 大阪 太郎

I 科学研究費補助金等

研究課題名	研究種目名	期間	金額 (千円)	代表・分担 の区別
1. 化学物質の測定方法に関する研究	科学研究費補助金・基盤研究(B)	2010.4～ 2013.3	総額 25,000 (分担 9,000)	分担
2. 化学物質の分析手法に関する研究	科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究	2015.4～ 2017.10	総額 3,500	代表

II 教育・研究奨励寄付金等

研究課題名	寄付申込先	期間	金額 (千円)	代表・分担 の区別
1. 化学物質の合成法に関する研究	日本合成学会 (大学院生研究奨励賞)	2010.5～ 2011.3	150	代表

III 受託研究等

研究課題名	受託研究先	期間	金額 (千円)	代表・分担 の区別
1. 化学物質の連続反応に関する研究	反応合成財団	2014.4～ 2015.3	総額 20,000	代表
2. 化学反応の解析に関する研究	化学反応振興財団	2015.4.～ 2016.3	総額 10,000 (分担 0)	分担

IV 共同研究等

研究課題名	共同研究先	期間	金額 (千円)	代表・分担 の区別
1. 化学物質の微量合成	株式会社 ABC	2015.4～ 2016.3	総額 4,000	代表